

平成31年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月11日

上場会社名 株式会社 ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 2769 URL <https://www.village-v.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 白川 篤典

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 滝島 知樹

TEL 052-769-1150

四半期報告書提出予定日 平成31年1月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年5月期第2四半期の連結業績(平成30年6月1日～平成30年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年5月期第2四半期	15,711	△1.9	△65	—	△61	—	△137	—
30年5月期第2四半期	16,013	△2.9	28	—	△5	—	120	—

(注) 包括利益 31年5月期第2四半期 △153百万円 (—%) 30年5月期第2四半期 142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年5月期第2四半期	△25.33	—
30年5月期第2四半期	15.55	15.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年5月期第2四半期	28,429	8,391	29.4
30年5月期	26,283	8,689	32.9

(参考) 自己資本 31年5月期第2四半期 8,370百万円 30年5月期 8,657百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	0.00	—	14.00	14.00
31年5月期	—	0.00	—	—	—
31年5月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成31年5月期の連結業績予想(平成30年6月1日～平成31年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,261	3.1	389	4.7	314	△7.4	32	△85.8	△11.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 10「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年5月期2Q	7,832,800 株	30年5月期	7,805,500 株
② 期末自己株式数	31年5月期2Q	1 株	30年5月期	1 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年5月期2Q	7,811,168 株	30年5月期2Q	7,718,237 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年5月期	—	—	—	35,287.67	35,287.67
31年5月期	—	—			
31年5月期 (予想)			—	80,000.00	80,000.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間（平成30年6月1日～平成30年11月30日）におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などにより、緩やかな回復基調で推移しているものの、一方で日本経済につながるのがある大国間の通商問題や、海外経済の不確実性などにより先行きは不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、相次ぐ自然災害の影響などにより個人消費は一進一退を続けており、消費者の節約志向や業種業態の垣根を越えた販売競争の激化に加え、人手不足を背景とした人件費や物流費のコスト上昇などにより厳しい事業環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、お客様の期待を超えるべく、店舗ごとで独創的な空間を創出することを目的として、商品の展示・POPだけでなく、コンテンツ・メディア・イベントとの連携を実施し、より立体感のある「驚き・面白さ」を提供すべく事業活動を行って参りました。また店舗集客を目的とした情報発信源として店内外でのイベントの開催、魅力ある商品提案をすべく社内のコンペなどを実施してまいりました。店舗運営のサポートといたしましては、販売費及び一般管理費の削減、商品供給体制の強化、更なる収益源の確保、既存店商品のWEB販売など継続的に取り組んで参りました。

店舗数につきましては、直営店5店を新規出店し、直営店7店、FC店2店を閉鎖したことにより、当社グループの当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、直営店348店、FC店6店の合計354店となりました。

このような事業活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、平成29年8月1日付けで行われたフード事業分割による店舗数の減少の影響により、15,711百万円と前年同四半期と比べ302百万円の減収

(1.9%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化を継続的に取り組んでまいりましたが、5,891百万円と前年同四半期と比べ390百万円減益(6.2%減)となりました。営業損失は65百万円と(前年同四半期は28百万円の営業利益)となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は、137百万円(前年同四半期は120百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

①株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーション

株式会社ヴィレッジヴァンガードコーポレーションは、お客様に買い物を楽しんでいただくため、独創的なワン・アンド・オンリーの空間の創造を目指しております。

各店舗では、書籍・SPICE(雑貨類)及びニューメディア(CD・DVD類)、アパレル等の商材を融合させ、店舗独自の「提案」を展開しております。

主な業態店舗としては、「遊べる本屋」をコンセプトにした「ヴィレッジヴァンガード」、大人も楽しめる空間を演出したライフスタイルショップ「new style」、アウトレット業態「Vintage Vanguard」等を運営しております。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は15,335百万円と前年同四半期と比べ319百万円の減収(2.0%減)となりました。売上総利益につきましては、仕入のコントロール、アウトレット店舗での在庫の消化に継続的に取り組んだものの、売上総利益は5,735百万円と前年同四半期と比べ404百万円減益(6.6%減)となりました。販売費及び一般管理費の削減に継続的に取り組んでおりますが、営業損失は61百万円(前年同四半期は73百万円の営業利益)となりました。

店舗数につきましては、直営店5店を新規出店し、直営店7店、FC店2店を閉鎖したことにより、当社グループの当第2四半期連結累計期間末の店舗数は、直営店348店、FC店6店の合計354店となりました。

②その他

株式会社Village Vanguard Webbedは日本国内でオンラインでの書籍・SPICE及びニューメディアの販売を行っております。取扱商品といたしましては、社外のクリエイターが作成した商品、アーティストとのコラボ商品などを多く取り扱い、画一的でなく、面白味のある商品を多数取り扱っております。

また、当社グループには海外事業といたしまして、海外子会社が3社ありましたが、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedにつきましては平成28年6月末をもって店舗を閉鎖し、平成30年9月28日付で清算結了いたしております。比利緹卡(上海)商贸有限公司につきましては、平成28年3月末をもって店舗を閉鎖、TITICACA HONGKONG LIMITEDにつきましても平成29年6月末をもって店舗を閉鎖し、会社清算へ向けた手続を順次進めていく予定であります。

子会社(株式会社Village Vanguard Webbed及び海外子会社3社)の当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は433百万円と前年同四半期と比べ26百万円の増収(6.4%増)となりました。営業損失は6百万円(前年同四半期は45百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.7%増加し、24,698百万円となりました。これは、現金及び預金が1,431百万円、商品が704百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.0%減少し、3,730百万円となりました。これは、建物及び構築物が41百万円、差入保証金が11百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて8.2%増加し、28,429百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて16.1%増加し、10,704百万円となりました。これは、買掛金が1,038百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて11.4%増加し、9,332百万円となりました。これは、長期借入金が893百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて13.9%増加し、20,037百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて297百万円減少し、8,391百万円となりました。これは、資本金が14百万円、資本剰余金が14百万円増加したものの、利益剰余金が299百万円減少したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,431百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には6,190百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は50百万円(前年同四半期は312百万円の支出)となりました。

これは、主にたな卸資産の増加額704百万円があったものの、仕入債務の増加額1,035百万円があったためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は76百万円(前年同四半期は526百万円の収入)となりました。

これは、主に無形固定資産の取得による支出61百万円、有形固定資産の取得による支出12百万円があったためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は1,456百万円(前年同四半期は1,170百万円の収入)となりました。

これは、主に長期借入金の返済による支出が1,923百万円あったものの、長期借入れによる収入が3,050百万円あったためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年7月13日発表の「平成30年5月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結・個別業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,759	6,190
売掛金	1,293	1,345
商品	16,141	16,846
その他	323	319
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	22,515	24,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,477	1,436
機械装置及び運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	176	159
建設仮勘定	94	95
有形固定資産合計	1,749	1,690
無形固定資産		
ソフトウェア	191	192
ソフトウェア仮勘定	209	235
その他	1	1
無形固定資産合計	402	428
投資その他の資産		
長期前払費用	86	91
差入保証金	1,528	1,517
その他	1	1
投資その他の資産合計	1,617	1,610
固定資産合計	3,768	3,730
資産合計	26,283	28,429

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,055	5,093
短期借入金	—	500
1年内償還予定の社債	—	30
1年内返済予定の長期借入金	3,515	3,749
未払金	601	450
未払法人税等	287	166
未払消費税等	52	12
株主優待引当金	32	67
賞与引当金	52	56
資産除去債務	41	33
その他	580	545
流動負債合計	9,220	10,704
固定負債		
社債	—	120
長期借入金	6,302	7,196
長期未払金	229	196
役員退職慰労引当金	340	345
退職給付に係る負債	252	239
資産除去債務	1,175	1,178
その他	75	56
固定負債合計	8,374	9,332
負債合計	17,594	20,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,301	2,315
資本剰余金	3,778	3,792
利益剰余金	2,559	2,259
自己株式	△0	△0
株主資本合計	8,638	8,367
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	18	2
その他の包括利益累計額合計	18	2
新株予約権	31	21
純資産合計	8,689	8,391
負債純資産合計	26,283	28,429

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年6月1日 至平成30年11月30日)
売上高	16,013	15,711
売上原価	9,731	9,819
売上総利益	6,282	5,891
販売費及び一般管理費	6,253	5,957
営業利益又は営業損失(△)	28	△65
営業外収益		
仕入割引	20	17
業務受託料	41	56
その他	47	42
営業外収益合計	109	115
営業外費用		
営業外支払手数料	66	28
支払利息	65	74
その他	11	9
営業外費用合計	144	112
経常損失(△)	△5	△61
特別利益		
新株予約権戻入益	4	1
事業分離における移転利益	276	—
特別利益合計	281	1
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	12	1
減損損失	15	7
特別損失合計	27	9
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	247	△69
法人税等	127	68
四半期純利益又は四半期純損失(△)	120	△137
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	120	△137

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	120	△137
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2	△16
退職給付に係る調整額	24	—
その他の包括利益合計	22	△16
四半期包括利益	142	△153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142	△153

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年6月1日 至 平成29年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年6月1日 至 平成30年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	247	△69
減価償却費	199	144
事業分離における移転利益	△276	—
減損損失	15	7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2	△12
支払手数料	66	28
売上債権の増減額(△は増加)	45	△53
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,673	△704
仕入債務の増減額(△は減少)	1,319	1,035
その他	△130	△90
小計	△188	284
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△65	△76
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△59	△157
営業活動によるキャッシュ・フロー	△312	50
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48	△12
無形固定資産の取得による支出	△63	△61
差入保証金の差入による支出	△47	△12
差入保証金の回収による収入	69	13
事業分離による収入	647	—
その他	△31	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	526	△76
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	180	500
長期借入れによる収入	3,282	3,050
社債の発行による収入	—	147
長期借入金の返済による支出	△2,076	△1,923
割賦債務の返済による支出	△148	△119
配当金の支払額	△107	△161
株式の発行による収入	106	—
その他	△66	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,170	1,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,384	1,431
現金及び現金同等物の期首残高	2,728	4,759
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,113	6,190

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、Village Vanguard (Hong Kong) Limitedは清算したため、連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結財務諸表計上額 (注) 2
	㈱ヴィレッジヴァンガードコーポレーション				
売上高					
外部顧客への売上高	15,634	379	16,013	—	16,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	28	48	△48	—
計	15,654	407	16,061	△48	16,013
セグメント利益又は損失(△)	73	△45	27	1	28

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成30年6月1日至平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注) 3	合計	調整額 (注) 1	四半期連結財 務諸表計上額 (注) 2
	(株)ヴィレッジヴァン ガードコーポレーシ ョン				
売上高					
外部顧客への売上高	15,300	411	15,711	—	15,711
セグメント間の内部売上 高又は振替高	35	22	57	△57	—
計	15,335	433	15,768	△57	15,711
セグメント損失(△)	△61	△6	△68	2	△65

(注) 1. セグメント損失の調整額2百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は、Village Vanguard (Hong Kong) Limited、株式会社Village Vanguard Webbed、比利
緹卡(上海)商贸有限公司、TITICACA HONGKONG LIMITEDが含まれております。なお、Village Vanguard
(Hong Kong) Limitedにつきましては、平成30年9月28日に清算終了しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。